

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	山形県
-------	-----

学校の概要

学校名	米沢市立北部小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	4	3	1	20	29
児童数	86	89	92	83	100	84	3	537	

研究の概要

1. 研究主題

輝くひとみ あふれる笑顔 広がる世界～確かな学力向上をめざした学校づくりを通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

* 実施学年及び教科を選択した理由。

1. 実施学年・・・全学年（1年生～6年生）
2. 実施教科・・・国語と算数
3. 選択した理由
 - ・「確かな学力」の中でも特に育てたい力として、「伝え合う力」と「自分で解決する力」が挙げられた。それを育てるのに適した教科、学力の中核としての教科として選択した。
 - ・特に、算数は、個人差が大きく、TTや少人数指導を推進する必要がある。
 - ・1年生から6年生まで全学年で取り扱うことのできる主要教科であるため、学年間だけでなく縦の学年の系統をおさえることができ、日常的に研究を進めることができる。

(2) 年次ごとの計画

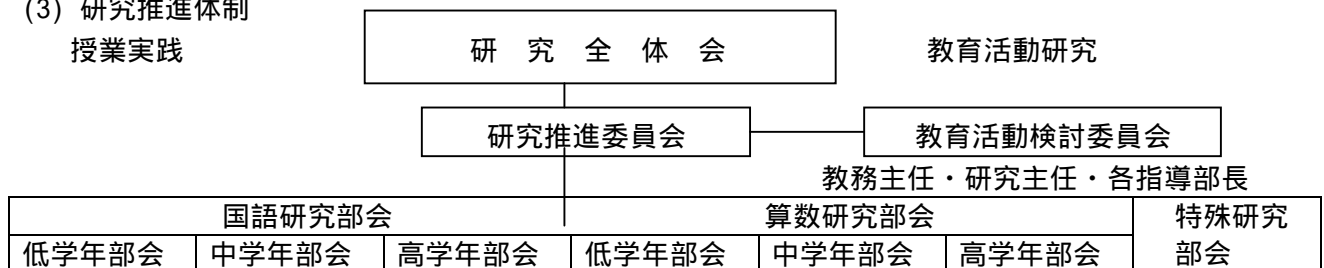
平成 15 年 度	<p>テーマ ～確かな学力向上をめざした学校づくりを通して～</p> <p>研究の見通し（仮説） 校内研究との関わりを重視し、授業改善の具現化を図るとともに、教育活動全般に関して課題・改善点の検討を行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>1. 育てたい力と研究の視点 <育てたい力> ・国語「伝え合う力」 ・算数「自分で解決する力」 <研究の視点> 学習意欲を高める工夫 支援の工夫 交流の場の工夫</p> <p>2. 個に応じた指導のための指導方法 教科の指導法の改善 ・課題解決的学習・直接体験や具体的操作活動の重視 ・交流活動の場の設定 ・TT指導の推進 基礎基本の定着 ・算数を中心としたTT指導（少人数学級の5年生を除く全学年、1学級2指導者で個人差に応じた個別指導、1学級2指導者による学習課題別や方法別学習） ・算数における学年オープンの習熟度別学習（全学年で3学級3～4名の指導者で、重点単元を決めて、単元全体、単元まとめ時での実態に合わせたコースわけ、発展教材や補充教材の開発） ・漢字、計算等の定着を図る形成的テストの積み上げ 生活科・総合的学習における課題解決能力の育成 ・学年オープンのTT指導1学年3～4指導者 ・人とのかわわりと体験活動の重視</p>
--------------------	---

	<p>感性と読解力、表現力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間の設定と工夫（週4回） ・詩の朗読暗唱（課題の詩の設定、月毎） 児童の学力の評価を生かした指導の改善 ・学力テストによる実態把握。それを生かして教材研究、授業改善 ・児童の自己評価と指導者による評価を生かしての指導法の改善
--	--

平成16年度	<p>テーマ ～確かな学力向上をめざした学校づくり～</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>校内研究との関わりを重視し、これまでの研究の成果と課題を踏まえて授業改善の具現化を図るとともに、教育活動全般にわたって研究テーマに迫り、研究のまとめを行う。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直しと改善 ・本校の特色を生かした授業づくり ・研究構想の改善。 ・児童の実態把握と課題整理。 ・T T指導の実践充実。 ・地域、他校へ発信・普及 ・評価方法の工夫と生かし方。 ・研究のまとめの作成と報告
--------	---

(3) 研究推進体制

授業実践



- < 研究推進委員会 > ・研究仮説、内容、計画等企画・立案。指導案、紀要検討。研修企画。部会調整。
- < 授業実践部 > ・国語、算数の研究テーマ設定。年間計画。資料収集。授業実践事前・事後研。
- < 教育活動検討委員会 > ・体・徳・知のバランスある教育課程の編成の見直し、提案。

その他

授業時間確保のための工夫（クリエイティブタイムの設定や日課表の工夫）
ゆとりをもって、児童に寄り添える評定2回制。学年会の教科指導面での充実。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- (1) 子どもの姿を見つめて（7月と12月に実施した児童の意識調査（国語・算数）の結果から）

学習意欲について・・・楽しく意欲的に学習に臨む児童が増えた。国語で83.3%、算数で87.2%というようにともに7月に比べて4%向上している。

自力解決力について・・・T Tや少人数指導を実施している算数の学習では、主体的に自分で解決するようになり、プリントなどを使って次々と問題を解く、計算する、答えを予想する、道具や図を使って問題を解くことなどを楽しいと答えている児童が60%以上と増えてきている。

伝え合う力について・・・国語では、グループ討論会や発表会などを取り入れた結果、友だちと話し合うことが楽しいという児童が17%増えた学年も見られた。算数でも、自分の考えを発表したり、友だちと話し合っ深めたりすることができたという児童が少し増え、伝え合う力が少しずつ伸びてきている。

目標達成度について・・・3月に学力テストを行う予定であるが、国語の学習では、本を読む、漢字等を覚えることなどがよくできたといい、算数では、勉強が前よりも分かるようになったと答えている児童が増えてきている。

(2) 研究の視点にそって

学習意欲を高める工夫について

単元や本時での導入時に、児童の実態や学習内容に応じて意欲を喚起させる手立てを工夫することによって、問題解決力を高め、学習内容の理解につながった。

国語 小道具を使ったリズムある音読の工夫・学習環境づくり・がんばりカード等。

算数 身近なものを使った操作活動や体験活動、ストーリー性のある課題、めあての明確化と課題に対する自分なりの予想、個々のレディネスの把握と教材教具の準備等。

支援の工夫について

一人ひとりの実態把握、個に応じた支援などの工夫によって、つまずきの多く見られた児童が分かるようになったり、自信を持って問題を解決しようとしたりする姿が見られた。

国語 発想が広がる発問、モデル挿入、ヒントつきワークシートや学習の手引き書等

算数 TT、少人数指導、「お助けコーナー」の設置、ノート指導、思考過程の工夫。

交流の場の工夫

交流の場を計画的に設定し経験を積むことによって、進んで交流し自分の考えを深めようとする児童が中・高学年に見られるようになり、どの学級の雰囲気も良い傾向である。

国語・算数 少人数、課題別グループ別交流、多様な考えを導く発問、交流の場の工夫。

2. 今後の課題

TT指導や課題別習熟度別指導について

単元目標や内容、児童の実態に応じてTT指導や課題別習熟度別少人数指導などについて指導計画に入れ込み、今後も意図的計画的に授業改善を図り、一人ひとりの確かな学力を高めていく。

評価について

ねらいやつけたい力を明らかにし、到達した子どもの姿に対してイメージできる評価規準を明確にする。評価の共有化、学びと評価の一体化を図り授業改善につなげる。

学年会の充実や授業の積極的発信を更に進め、研究の日常化を図る。

教材開発 楽しく分かりやすい授業づくりをめざして、今後も教材開発に努める。

学力等把握のための学校としての取組

1. 調査の目的

・児童の学習についての意識や学習状況の変容を捉え、今後の指導方法の改善を図る。

2. 実施内容と時期

・意識調査(国語及び算数の学習に関して興味・関心・意欲・態度等)・・・7月と12月

・学力調査(国語・算数・社会・理科に関する学力調査)・・・3月

・学校教育に関する保護者の意識調査・・・12月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

1. 開催実績

日 時	場 所	対 象	目 的
7月 8日(火)	本校	米沢市内全校	研究授業を公開し、学び合い、授業改善を進めるため
10月28日(火)	本校	置賜管内全校	広く授業を公開し、多くを学び授業改善を進めるため
12月 3日(水)	本校	置賜管内全校	授業公開を続け、授業づくりの課題をつかむため。

2. 開催予定・・・次年度も研究授業を広く公開する予定であるが、日程については未定である。

3. 研究成果普及のために

・学校教育のねらい、方針、実践内容等について、リーフレット、学校だよりを作成・配布。

4. フロンティアスクールティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績又は予定

・校内研究の推進。研修視察者(東京やいわき市から来校)や研究授業参観者等に説明。

・先進校視察し意見交流・普及。校内研便り発行等。・研究紀要作成・配布の予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | | | |
|----------------------|--|--|--|----|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | 7～12学級 | | |
| | 13～18学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 19～24学級 | | |
| | 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T.Tによる指導 | | |
| | 一部教科担任制 | その他 | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | 理科 |
| | 生活 | 音楽 | 図画工作 | 家庭 |
| | 体育 | その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | | |